

誰と生きるか、
何を愛するか、
それが人生――

ふるさと がえり

GOING HOME 


渋江譲二 佐藤仁美

矢柴俊博 前田 健 小林且弥 熊崎雄大(新人) 佐藤 初 山田太一 窪田かね子・笑福亭鶴光 斎藤洋介 中丸新将 沼田 爆 小林かおり 河原崎 建三

村田雄浩 高畑淳子

監督:林弘樹 脚本:栗山宗大 企画:えな「心の合併」プロジェクト/ものがたり法人FireWorks プロデューサー:三浦 修 撮影監督:藤田秀紀

照明:江川 斉 録音:廣木邦人 美術:岩城南海子 衣装:村島恵子 ヘアメイク:宇都圭史 スチール:長谷良樹 CGI:坂井隆志 編集:宮崎 恵 音楽:宮本貴奈/菊地 謙太郎 題字:尾崎栄藏

協力:恵那市/岐阜県/恵那ふるさと映画支援の会 後援:  消防庁/財団法人日本消防協会/日本商工会議所青年部 制作:ものがたり法人FireWorks 配給:NAKED INC.

©2011 /  FireWorks / NAKED INC. / 恵那ふるさと映画制作実行委員会

あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？

1990年、ある夏の日に、亀を助けた四人の少年。
2010年、映画の助監督を辞め、帰郷することになった主人公・勘治。
ふるさとを舞台に、二つの時代・物語が交差しながら進行していく。
消防団活動に巻き込まれる勘治は、少年時代の仲間たちが
「地域の平和」のために生きている姿を目の当たりにする。
一方少年カンジは、仲間たちと「ふるさとの平和を守る亀の子団」を結成。
ただただ遊び呆ける日々の中、夢中で描いた「竜宮伝説」という
冒険物語のスケッチブックや、お寺の映画上映会の体験などを通じて、
「映画監督」になる夢を抱く。

志半ばとなった「少年時代の夢」—
今まで振り返りもしなかった「田舎の現実」—
20年の時を超えて、「ふるさと」への愛情と葛藤が交錯していくのだった…。
「私たちは物語を生きている。」
カンジが描いた「ふるさとの物語」を通じて、その想いを届けていく。



映画『ふるさとがえり』上映会&脚本家トークショー開催！

月日：**1月21日(土)**

平成 24 年

会場：前田教育会館 蕉門ホール

開演：13：00～(12：30 開場)

定員：130 名 ※ご希望の方は上野商工会議

料金：無料 所までお申し込みください。

整理券を発送いたします。

★プログラム★

13：00～ 映画上映



15：30～ 脚本家・栗山宗大氏による
スペシャルトークショー



17：00 終了(予定)



映画『ふるさとがえり』脚本家・栗山宗大氏来場！

★『ふるさとがえり』制作の舞台裏、地域づくりに関わる思いなどをたっぷりお話しいたします。映画を通して、地域の絆、まちづくりを考えてみませんか？きっと、まちづくりの新しい可能性が広がります。この機会をお見逃しなく！！★

★主催・お申し込み・お問合せ★

NAVIGA 事務局(上野商工会議所内)

(平日 8：30～17：15 まで)

TEL：0595-21-0527

Email：info@igafilm.jp 担当：そわ

映画公式サイト <http://www.hurusatogaeri.com>